

## 平成25年2月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23K㎡)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	4,819	8,257	4,141	4,116	△ 12	△ 10
2 千 石	3,353	6,631	3,341	3,290	0	△ 2
3 内 山	4,784	7,028	3,790	3,238	3	△ 1
4 大 和	3,187	6,658	3,341	3,317	△ 3	△ 3
5 上 野	7,277	15,589	7,591	7,998	9	22
6 高 見	6,277	12,418	5,980	6,438	△ 16	△ 10
7 春 岡	6,153	10,100	5,397	4,703	0	3
8 田 代	11,145	21,493	10,332	11,161	△ 15	△ 5
9 東 山	9,550	18,628	9,103	9,525	△ 16	△ 23
10 見 付	4,303	8,312	4,166	4,146	△ 18	△ 14
11 星ヶ丘	3,389	6,722	3,006	3,716	8	22
12 自由ヶ丘	3,213	7,022	3,161	3,861	△ 9	△ 13
13 富士見台	6,396	15,822	7,297	8,525	4	△ 16
14 宮 根	3,676	8,466	4,028	4,438	△ 9	△ 16
15 千代田橋	3,588	8,759	4,102	4,657	△ 3	4
千 種 区 計	81,110	161,905	78,776	83,129	△ 77	△ 62
H24. 2. 1	81,293	161,244	78,414	82,830	△ 45	△ 33
対 前 年 比	△ 183	661	362	299	△ 32	△ 29
名 古 屋 市	1,024,573	2,267,280	1,116,555	1,150,725	△ 428	△ 792
愛 知 県 ( H25. 1. 1 )	2,967,597	7,426,411	3,708,892	3,717,519	△ 1,459	△ 3,209

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	142	155	△ 13	730	779	△ 49

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成 7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132	これまでの最少人口	
平成 2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注1) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口と外国人登録人口の異動数を加減しています。

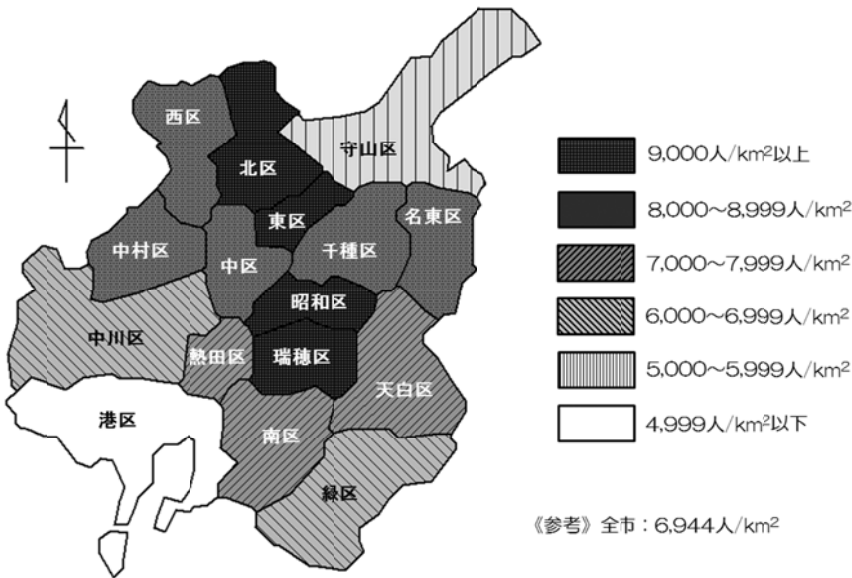
注2) 社会動態および対前月増減には、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動が含まれており、昨年との連続性はありません。

統計なごやweb版 <http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/67-5-0-0-0-0-0-0-0.html>

## 千種区の人口密度の概況

平成 25 年 2 月 1 日現在の千種区の世帯数は 77 世帯減の 81,110 世帯となっており、人口は 62 人減の 161,905 人となっています。今回は平成 24 年 10 月 1 日現在の千種区の人口密度を他区と比較しながらみていきます。

図 1: 区別人口密度 (平成 24 年 10 月 1 日現在)

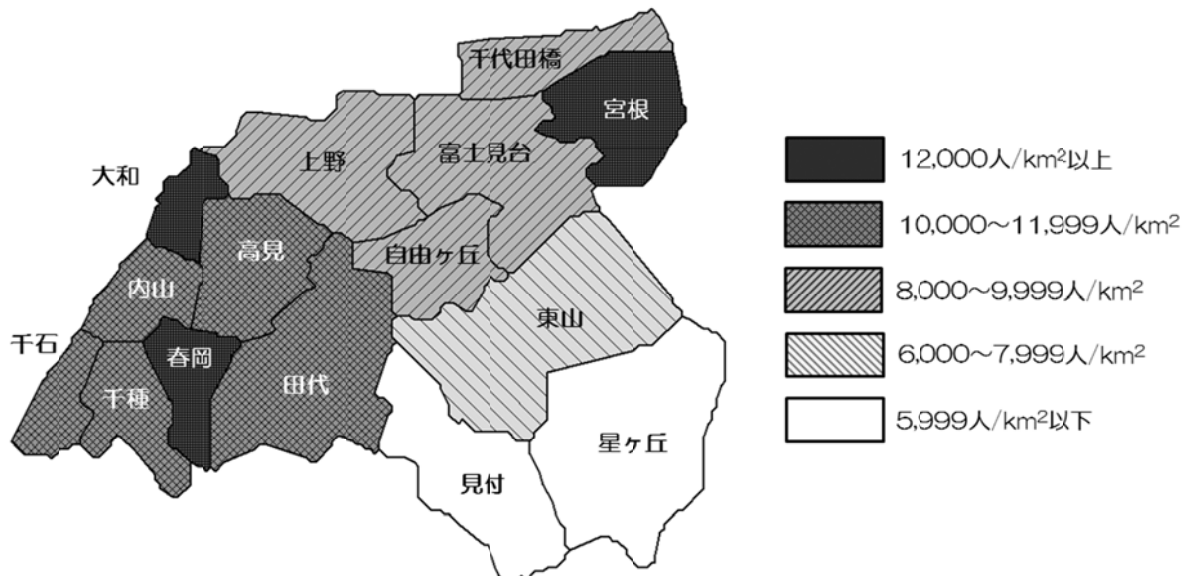


平成 24 年 10 月 1 日現在の区別人口密度をしてみると (図 1)、東区が 9,675 人/km<sup>2</sup> と最も多く、昭和区 9,583 人/km<sup>2</sup>、瑞穂区 9,369 人/km<sup>2</sup> と続き、千種区は 8,867 人/km<sup>2</sup> で 5 番目でした。

人口密度が低いほうから見てみると、港区が 3,209 人/km<sup>2</sup> で最も低く、守山区 5,000 人/km<sup>2</sup>、緑区 6,187 人/km<sup>2</sup> と続きます。全体的に見てみると、名古屋市の中心部は人口密度が高く、郊外は低い傾向が見られます。

続いて、千種区の人口密度を見ていきます。

図 2: 千種区の学区別人口密度 (平成 24 年 10 月 1 日現在)



平成 24 年 10 月 1 日現在の千種区の学区別人口密度を大きい順に見てみると、大和 (14,137 人/km<sup>2</sup>)、春岡 (13,707 人/km<sup>2</sup>)、宮根 (12,143 人/km<sup>2</sup>)、高見 (11,682 人/km<sup>2</sup>)、田代 (11,363 人/km<sup>2</sup>) の順となっています。